

## ②公開特許公報 (A)

昭54-65528

③Int. Cl.<sup>2</sup>  
 G 03 B 27/32  
 G 03 B 21/11  
 G 03 G 15/00

識別記号 ③日本分類  
 103 C 21  
 103 D 1  
 103 K 12

序内整理番号 ③公開 昭和54年(1979)5月26日  
 6239-2H  
 6401-2H  
 6805-2H  
 発明の数 1  
 審査請求 未請求

(全 11 頁)

## ④可変倍率リーダー・プリンター装置

②発明者 高麗英一

横浜市練区たちばな台2の9の

1

②特願 昭52-132251

③出願人 富士ゼロツクス株式会社

昭52(1977)11月4日

東京都港区赤坂3丁目3番5号

②発明者 山崎貞一

④代理人 弁理士 米原正章 外1名

東京都世田谷区羽根木町一丁目  
12-5

## 明　　細　　書

## ①発明の名称

可変倍率リーダー・プリンター装置

## ②特許請求の範囲

フィルム1の映像をスクリーン2、感光体3とどちらか一方に投影できるようにしたりーダー・プリンター装置において、フィルム1が形成されるフィルム取せ台5を複数台6と7を実際機械を介して動力源に伝達し、投影像の倍率を変更する第1、第2最大レンズ20<sub>1</sub>、20<sub>2</sub>のどちらか一方を所定位置に移動可能に構成すると共に、映像1、感光体3と最大レンズ20<sub>1</sub>、20<sub>2</sub>の切替手段と倍率変換機とを相互に連動して切替作動する如く機械的に連係したこと特徴とする可変倍率リーダー・プリンター装置。

## ③発明の詳細な説明

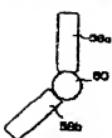
本発明はスクリーン上にマイクロフィルムの像を投影して、撮影し、また投影を消去してマイクロフィルムと感光体を移動しながらマイク

ロフィルムの像を感光体に投影して複写する可変倍率リーダー・プリンター装置に関するものである。

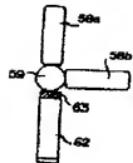
一般に、マイクロフィルム(以下「マイクロ」とする)の映像に耐える感光性は極めて弱い。またマイクロは被写体の細部、大きさにより複数の縮小率があり、どのためフィルムに記載された縮小率のサイズが一定していない。また複写用紙として異なる大きさを複数ことができる場合、必要とする複写紙の大きさが異なり一定しない。

1例として、マイクロフィルムの規格として広く利用されているNMA(National Microfilm Association)またはANSI(American National Standard Inc.)のA1規格の1枚の大さは10 mm×15.5 mmであり、また同A3規格では11.75 mm×16.5 mmである。既にB30 mm×97 mmの大きさをもつてNMA4規格の大さは被写体としてNMA-A1規格に複写する場合の縮小率を2.5分の1とすれば1枚の

第 8 図



第 7 図



第 9 図

